



會報

米子市危険物
保安協会

発行所
米子市危険物保安協会
米子市河三柳5452番地
鳥取県西部広域行政
管理組合消防局内
電話 35-1970
印刷所 / 南米子プリント社

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
会員の皆様をはじめ、消防機関や各団体の方々の当協会の事業運営に対する格別のご指導、ご理解、ご支援に心から感謝を申し上げます。
さて、昨年を顧みますと広島県、岐阜県などで集中豪雨による土石流が発生、全国的には酷暑による各地での最高気温の記録を更新し、熱中症による死傷者が多数発生しました。
また、昨年の暮れから寒気が日本付近に南下したために、日本海側が記録的な豪雪になり、特に山陰地方は集落の孤立や国道の渋滞等に自衛隊を派遣要請するなど地球環境の変化による自然災害の脅威を痛感させられました。
さて、危険物に係る事故については、全国の危険物施設における火災・漏えい事故は、依然として高い水準で発生している状況が続いておりますが、鳥取県西部におきましては会員皆様のご尽力により、昨年は大きな危険物災害は発生しておりません。これも事故防止に対する会員皆様方のご尽力の賜物と感謝いたしております。

ご挨拶

米子市危険物保安協会
会長 宇野松人

西部消防局管内の平成22年中の建物火災の件数は49件で、若干減少はしましたが、逃げ遅れによる死者は3人と一昨年に比べ2人増加しました。また、今年に入ってから建物火災ですでに4人の尊い命が失われ、いずれも就寝時間帯に亡くなっておられます。
万が一火災が発生したときは、「早期発見」、「早期避難」が重要となってきます。そのためにも住宅用火災警報器の設置促進が急務であり、5月31日の設置期限までの3ヶ月の間、今まで以上に消防機関と協力しながら設置率100%の実現と住宅火災による死者ゼロを目指して参りたいと考えております。
このような現状を踏まえ、住民の求めている「安心・安全」の地域を構築するため、当協会も関係機関と協力し、会員の皆様と緊密な連携を保ちながら、近年急速に進んでいる社会環境、生活環境等の変化に対応した協会運営を心がけてまいります。今後とも皆様方の一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

平成22年度表彰

事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、危険物に関する安全意識の高揚と啓発を図るため、危険物安全週間中の6月7日、東京のスクワール麹町に於いて「平成22年度全国危険物安全大会」が開催され、その席上で消防庁長官並びに全危協理事長の表彰式が執り行われました。

また、鳥取県内でも同じく週間中の6月9日、米子ワシントンホテルプラザに於いて「鳥取県危険物保安協会連合会表彰式」が開催され、県知事並びに県危連会長より表彰状及び記念品が贈られました。

それぞれの表彰式で、次の方々が受賞されました。

(以下、敬称は略させていただきます。)

◎消防庁長官表彰

★優良危険物関係事業所

山陰酸素工業株式会社

(代表取締役社長 並河 勉)



取締役統括保安本部長 深谷 勉 氏

◎鳥取県知事表彰

★危険物優良取扱者

佐藤 京一(株)松本油店

◎鳥取県危険物保安協会連合会会長表彰

★危険物保安功労者

宇野 松人(米子瓦斯(株))

細田 正人(日ノ丸自動車(株)米子支店)

三島 幹愛(三島産業(有))



写真右から
 桑名西部消防局長、
 杉本県防炎局副局長、佐藤氏
 三島氏、細田氏、宇野会長
 吉谷県危連会長

平成22年度 事業報告

- 5月 第54回定期総会、役員会
- 6月 危険物取扱者試験講習会(乙4・丙)
- 6月 新入社員防災研修会(101名参加)
- 6月 全国危険物安全大会及び表彰式
- 7月 鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び表彰式
- 7月 KHK保安講習会
- 8月 危険物取扱者保安講習会
- 9月 先進地視察研修(18名参加)
- 10月 危険物取扱者試験講習会(乙4)
- 10月 危険物取扱者試験講習会(乙4)
- 11月 新年役員会
- その他 火災予防関係規集、標識・掲示板等の斡旋
火災調査図書を署所に寄贈

◎今年度の事業計画に挙げておりました危険物関係者研修会は、諸事情により中止させていただきました。

新入社員防災研修会

平成22年6月24日、西部消防局に於いて協会事業所の新入社員を対象とした防災研修会が開催され、各事業所の新入社員101人が参加しました。

講和やビデオにより防災教育の必要性を学んだ後、外に出て消火器及び消火栓を使った消火訓練並びに煙の迷路や救助袋による避難訓練を体験しました。



先進地視察研修

平成22年9月3日(金)～9月4日(土)の2日間、米子市危険物保安協会・米子自衛防火協会共催の先進地視察研修が両協会員18名の参加で、株式会社モリタ三田工場、大阪ガス ガス科学館を視察しました。

株式会社モリタ三田工場は、最新鋭の設備を誇るアジア最大級の消防車生産工場で、日本で活躍する消防車の半数以上を生産しています。高所での救助活動を可能にする梯子車や高機能消防車など年間700台以上が生産され、見学当日は中国、シンガポールへ輸出される梯子車の生産工程の説明を受けました。



また、大阪ガス ガス科学館は、1982年に開館した日本の総合ガス科学館で、施設内には見て聞いて触れるコーナーがたくさんあり、環境にやさしい天然ガスとその利用技術及び都市ガスに関する知識習得について説明を受けた後、隣接する東北製造所内を都市ガス原料のLNGのタンカーからLNG貯蔵タンクの受入れ及び都市ガスの製造工程をバス車両内より見学することができました。

二日目は、奈良県で行われている平城遷都1300年祭の平城宮跡に復元された大極殿・朱雀門や興福寺国宝館等を観光し、何事も無く全員無事に、ほぼ定刻どおりに消防局に到着することができました。



西部消防局管内の 火災発生状況

平成22年中の火災件数は76件で前年に比べ大幅に減少しており、これは西部広域消防発足以来最も少ない火災件数です。

出火原因の第1位は「こんろ」で、6年間出火原因の第1位だった「放火(放火の疑い含む)」は第2位でした。

火災による死者4人のうち3人は建物火災によるもので、いずれも就寝時間帯に発生した火災により起こられています。

このことから、住民に対する出火防止のための啓発とともに、万一火災が発生した時に早期発見と早期避難ができるよう、住宅用火災警報器の設置を推進していくことが重要と考えます。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

～3つの習慣・4つの対策～

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災報知器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

火災の状況

	平成22年	平成21年
火災件数(件)	76	100
建物火災	49	54
林野火災	3	4
車両火災	6	8
船舶火災	1	0
その他火災	17	34
損害額(千円)	187,017	190,100
死者(人)	4	2
負傷者(人)	15	15

火災原因

順位	原因	件数
第1位	こんろ	10
第2位	放火・放火疑い	8
第3位	たき火	7
第4位	たばこ	6
第5位	電気機器	2

地下貯蔵タンクの流出防止対策

＝危険物の規制に関する規則等の一部を改正する省令＝

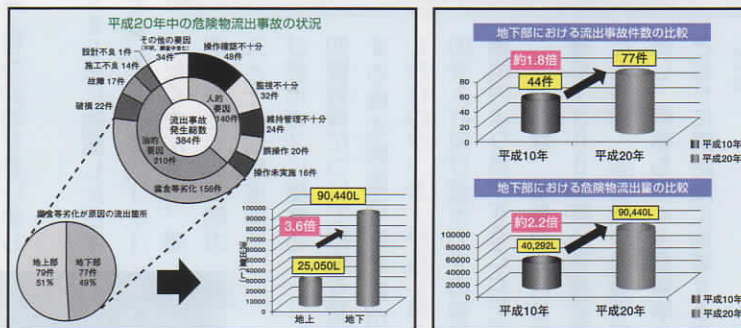
■施行期日 平成23年 2月 1日 ■猶予期間 平成25年 1月31日

近年の危険物施設数は右肩下がりに減少傾向であるにも関わらず、事故件数は、平成6年を最少に平成7年以降増加を続け、近年、若干減少しているものの依然として高い水準にあります。

この度の改正は流出事故減少を目指した改正です。

危険物の事故概要

平成20年中の流出事故は384件発生し、その中でも腐食等劣化によるものが156件と最も高く、総数の約40%を占めております。さらに、腐食等劣化を原因として発生した流出事故のうち、49%が地下に埋設された地下貯蔵タンク等で発生しております。地下における流出であるために発見が遅れる可能性は高く、地上での流出量の約3.6倍、さらに平成10年と平成20年とを比較した場合、地下での流出事故件数は約1.8倍、流出量は約2.2倍と増加しており、今後も増加する可能性があるとともに、流出した危険物の拡散による火災危険及び環境汚染が懸念されております。



法令の主な改正内容

この度の改正は、地盤面下に直接埋設された鋼製一重殻地下貯蔵タンクのうち、「腐食のおそれが特に高いタンク」と「腐食のおそれが高いタンク」のタンク内面の腐食を防止するコーティング等の流出防止対策を講ずることとするものです。

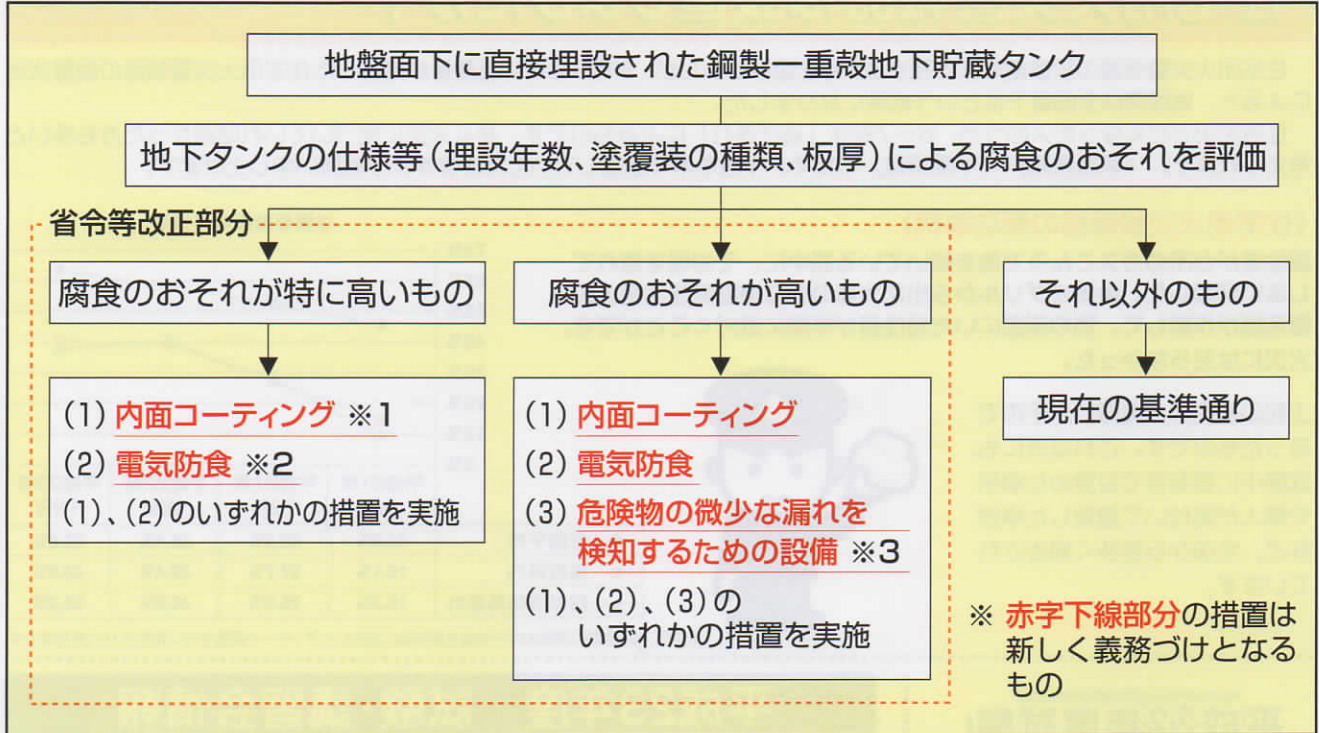
(次頁のフロー図 参照)

※「腐食のおそれ」の評価は、設置年数、塗覆装の種類、設計板厚の要件により決められています。詳細については、別表の腐食のおそれが高い等のタンクリストを参考にしてください。

腐食のおそれが高い等のタンクリスト

腐食のおそれが特に高いタンク		
設置年数	塗覆装の種類	設計板厚
設置年数が50年以上のもの	アスファルト	全ての設計板厚
	モルタル	8.0mm未満
	エポキシ樹脂等	6.0mm未満
	強化プラスチック	4.5mm未満
設置年数が40年以上50年未満のもの	アスファルト	4.5mm未満
腐食のおそれが高いタンク		
設置年数	塗覆装の種類	設計板厚
設置年数が50年以上のもの	モルタル	8.0mm以上
	エポキシ樹脂等	6.0mm以上
	強化プラスチック	4.5mm以上12.0mm未満
設置年数が40年以上50年未満のもの	アスファルト	4.5mm以上
	モルタル	6.0mm未満
	エポキシ樹脂等	4.5mm未満
	強化プラスチック	4.5mm未満
設置年数が30年以上40年未満のもの	アスファルト	6.0mm未満
	モルタル	4.5mm未満
設置年数が20年以上30年未満のもの	アスファルト	4.5mm未満

腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク等が講ずべき措置に関するフロー図



※1 内面コーティング

地下貯蔵タンクの内面の腐食を防止するため、タンクの内面全体にガラス繊維強化プラスチックライニング2.0mm以上の厚さに被覆するもので、地下貯蔵タンクが埋設されたままの状況で施工できるものである。

※2 電気防食

地下貯蔵タンクの周囲に電極を埋める等を行うことにより、地下に埋設されたタンクへ外部から直流電流を流し、腐食の進行を防止するものである。

※3 危険物の微少な漏れを検知するための設備

直径0.3mm以下の開口部からの危険物の漏れを常時検知することができる設備のことであり、具体的には、埋設された地下貯蔵タンクに貯蔵されている危険物の液面を常に計測して、危険物の液面の変化を検知し、警報を発するシステム（高精度液面計）などである。

●注意すべき事項について

腐食のおそれの高い地下貯蔵タンクとして、危険物の漏れを早期に検知する設備（高精度液面計）を設置した場合であっても、その後、腐食のおそれの特に高い地下貯蔵タンクに該当した時点で、危険物の漏れを防止する措置であるFRP内面ライニング又は電気防食が必要となります。
→設置年数、予定使用年数を踏まえた対応を検討していただく必要があります。

詳細については、西部消防局予防課危険物係にお問い合わせください。 TEL 0859-35-1955



地震などの緊急消防援助活動や水難救助事故など、数日間にも及ぶ災害に対応するための活動拠点となる「支援車」が、このたび鳥取県西部広域行政管理組合消防局に配備されました。

車内には、トイレ、シャワー、ベッド、厨房設備などを備え、最大乗車人数は26人で、隊員が数日間滞在できるようにになっており、長時間に渡り過酷な活動を強いられる消防隊員をサポートすることができま



大規模災害に備えて
西部消防局に
支援車を配備

住宅用火災警報器は設置しましたか？

住宅用火災警報器の設置期限
平成23年5月31日

住宅用火災警報器の設置期限まで残り3ヶ月を切りましたが、昨年12月に総務省が発表した住宅用火災警報器の設置状況によると、鳥取県は全国最下位という結果になりました。

住宅火災で亡くなった人のうち、6～7割は「逃げ遅れ」によるものです。早く火災に気づいていれば助かった方も多いと考えられます。「早期発見」・「早期避難」のため、1日も早く設置していただきますようお願い申し上げます。

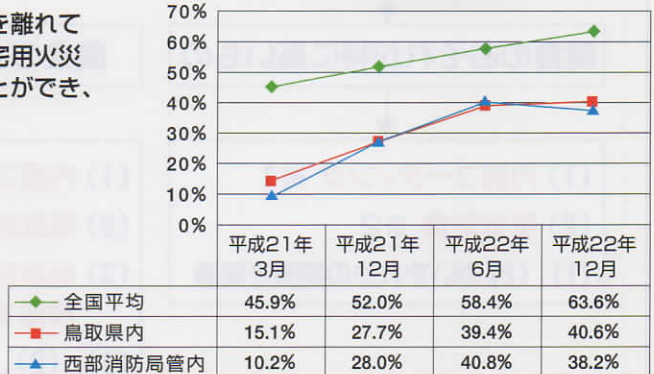
《住宅用火災警報器の奏功事例》

居住者が台所のガスこんろで魚を焼いている最中に、その場を離れてしまい発煙した。魚焼きグリルから出た大量の煙に連動型住宅用火災警報器が作動して、別の部屋にいた居住者が早期に気付くことができ、火災には至らなかった。

上記の事例は、実際に米子市であったものです。これ以外にも、就寝中に警報音で目覚めた事例や隣人が気付いて通報した事例など、全国から数多く報告されています。



住警器設置率の推移



※グラフは、全国の消防本部が地域を無作為に抽出してアンケート調査を行い推計された普及率です。

平成22年度試験 結果報告

第1回

- ◎講習受講者
乙4 64.4% 丙 33.5%
- ◎鳥取県平均
乙4 33.5% 丙 56.5%
- ◎全国平均(6月実施の都道府県平均)
乙4 41.4% 丙 52.3%

第2回

- ◎講習受講者
乙4 38.3% 丙 受講なし
- ◎鳥取県平均
乙4 27.6% 丙 55.6%
- ◎全国平均(10月実施の都道府県平均)
乙4 33.4% 丙 50.6%

第3回

- ◎講習受講者
乙4 47.1%
- ◎鳥取県平均
乙4 31.3%
- ◎全国平均 未集計(3月中旬予定)

会費納入のお願い

本年度も残りわずかになりました。まだ会費を納められていない事業所の方は、早急に納入していただきますよう協力をお願いします。

なお、ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

電話 (0859) 35-1970

●表紙の写真●

米子水鳥公園のコハクチョウ
撮影 渡辺こすえ

平成23年度 試験・講習会情報

危険物取扱者試験

- 第1回 甲種・乙種・丙種
試験日 平成23年 6月12日(日) 受付期間 4月11日～ 4月25日
 - 第2回 甲種・乙種・丙種
試験日 平成23年11月 6日(日) 受付期間 9月12日～ 9月26日
 - 第3回 乙種
試験日 平成24年 2月 5日(日) 受付期間11月28日～12月12日
- ※上記の受付は書面申請の期間です。電子申請については、受付・締切り共に3日前となります。

消防設備士試験

- 第1回 甲種(特類、1～5類)・乙種(1～7類)
試験日 平成23年 7月31日(日) 受付期間 6月 6日～ 6月20日
 - 第2回 甲種(1・4類)・乙種(1・4・6・7類)
試験日 平成23年12月 4日(日) 受付期間10月 6日～10月20日
- ※上記の受付は書面申請の期間です。電子申請については、受付・締切り共に3日前となります。

甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習(併催講習)

- 第1回 講習日 平成23年 5月11日(水)～12日(木) 受付期間 4月14日～ 4月28日
- 第2回 講習日 平成23年 9月15日(木)～16日(金) 受付期間 8月22日～ 9月 2日
- 第3回 講習日 平成23年12月 1日(木)～ 2日(金) 受付期間 11月 7日～11月21日
- 第4回 講習日 平成24年 3月13日(火)～14日(水) 受付期間 2月20日～ 3月 5日

甲種防火管理再講習

- 第1回 講習日 平成23年 6月 8日(水) 受付期間 5月17日～5月31日
- 第2回 講習日 平成23年10月13日(木) 受付期間 9月16日～9月30日

●危険物試験準備講習会については、試験日の3～4週間前を予定しております。詳細が決まりましたら、協会のホームページに掲載いたします。

協会URL <http://www.yonago-kikenbutsu.jpn.org/kh/>

※講習会以外の情報も掲載しておりますのでご覧ください。